

# SHINWA REPORT

第11期(2025年3月期)報告書  
2024.4.1 - 2025.3.31

## 株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第11期(2025年3月期)の業績について、ご報告させていただきます。

## 信和株式会社

〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7 TEL:0584-66-4436

## 「いのちを守り、未来を支える」モノづくりへ

株主・投資家の皆様におかれましては、当社の成長に変わらぬご支援・ご期待をいただき、心より御礼申し上げます。

当社は1977年に仮設資材のメーカーとして創業し、2003年には物流機器事業へ進出いたしました。40年以上にわたり、金属加工の経験と技術を積み重ね、高品質な製品づくりを通じて、街やインフラの発展、あるいは維持・修繕の為になくてはならないリソースを社会に供給し続けているものと自負しております。

当期における国内景気は緩やかな回復基調が見られた一方で、建設資材価格の高止まりや建設労働者不足による工事延期など、先行きに対する不透明感は強く、仮設資材の調達トレンドには大きな変化が生じています。

このような厳しい市場環境の中、柔軟な営業提案を武器に売上収益の獲得に注力したほか、2024年4月に全国でも有数規模の仮設施工企業である「ヤグミグループ」を子会社化したことにより、同社の有する豊富な人材力を生かした仮設施工工事が収益貢献したことに加え、事業統合を進めることによりサービス及び取引

チャンネルの拡大を通じた収益拡大機会の創出を進展させました。さらに、2024年10月には、首都圏における堅調な建設需要に応えるべく「相模原機材センター」を開所し、既存拠点である杉戸機材センターと連携した供給力の強化を図りました。

今後も、当社にとって厳しい状況が継続するものと見込まれますが、ヤグミグループ子会社化により獲得した「製造から施工まで」の強固なバリューチェーン、また、2025年5月に株式を取得した「株式会社凰金属工業」のアルミ加工技術を活かし、現場の意見を反映した新機材・新サービスの開発や、相互のリソースを活用した事業範囲の拡大などのシナジーを発揮してまいります。

当社のパーパスである「いのちを守り、未来を支える」理念をグループで共有し、社会への価値提供を通じて成長するとともに、企業価値を高めてまいります。

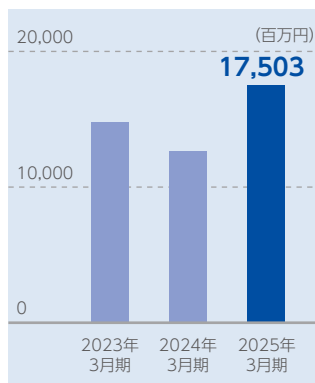
何卒一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役 社長 則武 栗夫

## 財務ハイライト第11期(2025年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 <https://ir.shinwa-jp.com>

### 売上収益



### 親会社の所有者に帰属する当期利益



### 親会社所有者帰属持分比率



### ROE



# 事業の内容について

## パーパス「いのちを守り、未来を支える」に関連した取り組み

当社は社会課題の解決に貢献する製品開発を推進しています。施工現場のノウハウを活かし、作業員の墜落や物の落下を防ぐ安全措置資材を提供するとともに、中高層の現場に向けては「抜け止め機能」を備えるなど足場の機能強化も進めています。さらに、老朽化インフラの維持修繕に対応する「橋梁用システム吊り足場」の提供に加え、作業負担を軽減する部材の軽量化も追求し、建設現場全体の安全性と生産性の向上に貢献します。



### 仮設資材部門

建設現場などで用いられる仮設足場は、主に低層～中層用で使用されるシステム足場※（くさび緊結式足場）と中層～高層用で使用されるシステム足場（次世代足場）並びに、主に高層用や大規模施設等で使用される枠組足場の3種類に大別されますが、当事業においては、主にシステム足場（くさび緊結式足場・次世代足場）の製造・販売を行っております。門型の建枠にジャッキベース・

交差筋かい・踏板等の基本部材を組み合わせ、積み上げていく枠組足場と比べ、システム足場は各製品（支柱・手すり・踏板等）が軽量かつシンプルな形状となっております。

当社が提供するシステム足場は、出荷金額ベースで市場シェア第1位となっております（当社調べ）。

※ システム足場とは、「くさび緊結式足場」と「次世代足場」の総称です。

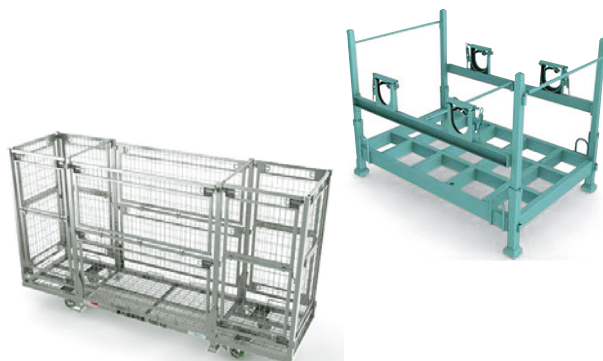
#### 当社取扱製品及び主力製品

システム足場	足場の種類	くさび緊結式足場 『シンワキャッチャー』	次世代足場 『SPS (サイレントパワーシステム)』『NDS (ダーウィン)』	
	主な用途	低層～中層向け (戸建住宅・マンション等)	中層～高層向け (大型マンション・ビル・大規模施設等)	
	当社の製品	 シンワキャッチャー	 SPS	 NDS

### 物流機器部門

物流機器部門では、主に工場、倉庫、建設現場における物品の保管・搬送等に使用される物流機器の製造・販売を行っております。

用途に合わせて様々な製品を製造しており、自動車部品、液晶パネル用ガラス等の保管・搬送用パレット及びスチールラックといった物品保管用の物流機器を、顧客の要望に基づいて企画設計・製造し、顧客のニーズに最も適した製品を提供できるよう努めております。



# 第11期(2025年3月期)の概況

## 仮設資材部門

仮設資材部門は、「製造から施工まで」を掲げ、戸建住宅から高層建設物までをターゲットとする「くさび緊結式足場」「次世代足場」の製造販売と、高品質な仮設施工サービスの提供を行っております。当連結会計年度においては、仮設資材に対する需要は堅調なもの、原材料価格の高止まりを背景とした製品価格の高騰により、仮設資材をレンタルで調達する流れが続いております。このような流れの中、レンタルの注力のみならず販売とレンタル双方の強みを組み合わせた営業展開、注力エリアにおける重点的な営業活動など、多様な購買喚起の取り組みに注力しました。また、2024年4月に子会社化したヤグミグループにおいては、堅調な工事需要に対し、豊富な人材力で着実に案件を獲得しました。これらの結果、仮設資材部門の売上収益は13,028百万円(前期比45.1%増)となりました。

仮設資材部門の売上収益



### POINT

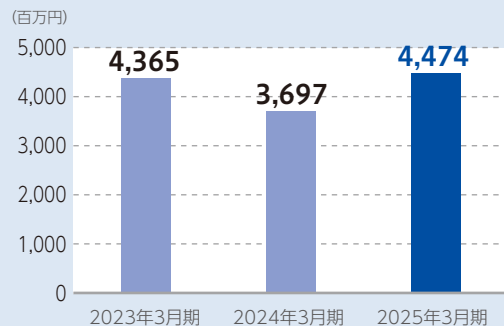
レンタルの強化・推進だけでなく、販売とレンタル双方の強みを組み合わせた販売手法や、注力地域における重点的な営業展開など、多様な購買意欲喚起に取り組む。

2024年4月に子会社化したヤグミグループにおいては、堅調な工事需要に対し、豊富な人材力で着実に案件を獲得。

## 物流機器部門

物流機器部門は、建設業界のみならず、自動車や物流倉庫など幅広い産業に向けて、オーダーメイドの製品提供を通じ、運搬・収納の効率化や安全性の向上を実現するソリューションを提供しております。当連結会計年度においては大型物流倉庫案件のほか、自動車、ガラス土石製品、自動倉庫など幅広い業界から多くの案件を獲得しました。また、液体搬送用バルクコンテナケースの受注量も堅調に推移し、売上収益に貢献しました。これらの結果、物流機器部門の売上収益は4,474百万円(前期比21.0%増)となりました。

物流機器部門の売上収益



### POINT

大型物流案件や幅広い業界からの案件を多数獲得。

液体搬送用バルクコンテナケースの受注量も堅調に推移し、売上収益に貢献。

# 中期経営計画(2025年3月期~2029年3月期)について

当社は、「いのちを守り、未来を支える」理念のもと、様々な社会課題の解決に資する製品・サービスの提供を通じ、成長を続けていきます。

## 中期経営計画における目標

### 1 売上収益目標

**200**億円  
(2029年3月期)

### 2 ROE目標

**8.5%**  
(2029年3月期)

### 3 配当方針

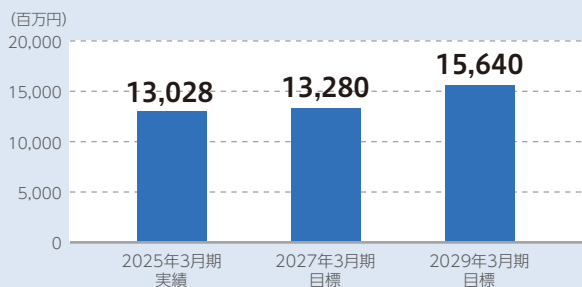
累進配当・1株当たり年間  
下限 **32**円

## 各部門の目標

### 仮設資材部門

2029年3月期 売上収益目標

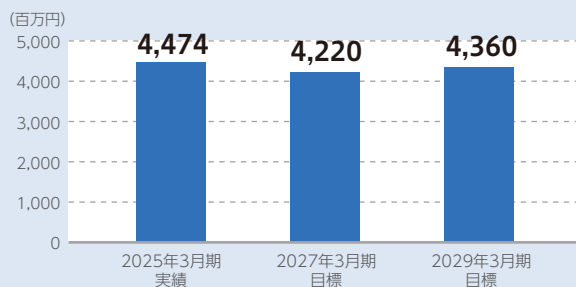
**15,640**百万円



### 物流機器部門

2029年3月期 売上収益目標

**4,360**百万円



## 注力分野について

### ① 橋梁向けシステム吊り足場

- 社会インフラの中でも道路橋の老朽度は高く、維持・メンテナンスは喫緊の課題となっている。
- 安全性・効率性の高いシステム吊り足場の速やかな普及と拡販に注力する。

仮設関連市場規模

**350**億円  
(当社想定)

橋梁補修向け

### ② 仮設施工サービス

- 建設就業者数は減少傾向であり、高齢化も進んでいる。
- 仮設施工企業であるヤグミグループの子会社化により「製造から施工まで」の両事業で新たな仮設建設関連サービスを創出する。

軽仮設工事市場規模

国内 **4,636**億円  
東海3県 **470**億円  
(当社調べ)

### ③ 物流事業の領域拡大と強化



#### 既存領域の強化

- 売上基盤のさらなる強化
- レンタル事業の拡大
- 利便性の追求



#### 新領域への進出

- 省人化分野
- 海外展開
- 未経験業界への積極的な挑戦

# ESGへの取り組みについて

当社が持続的かつ安定的に成長するためには、経営においてもESGの観点が必要と考えており、環境・社会・企業統治、それぞれの課題に取り組んでまいります。



中期経営計画 説明資料はこちら



## 持続可能な社会への貢献

- 環境負荷軽減型製品の開発、カーボンニュートラル業界への効率的な製品供給
- CO<sub>2</sub>排出削減を目指した取り組み（車両の電動化、排出モニタリング）
- 廃棄物の削減推進（歩留まり改善、ペーパーレス化）



## 働き方やダイバーシティ推進

- 社会課題解決を目的とした事業推進
- 人材の育成強化
- 職場環境の整備
- ダイバーシティとインクルージョンの向上
- 地域活性化支援



## 透明性を意識した健全な企業経営

- 実効性の高いガバナンスの実践（社外役員の登用等）
- 投資家との建設的な対話（IRの充実）

## TOPICS

### 新拠点「相模原機材センター」を開所

当社は、2024年10月29日に「相模原機材センター（神奈川県相模原市緑区）」を開所いたしました。首都圏における都市再開発やインフラ整備などの建設需要が堅調であるなか、神奈川および東京を広くカバーすることができる当センターは、同エリアに安定的かつ豊富な資材供給を実現するための重要な拠点となります。当センターではくさび緊結式足場「キャッチャー」を中心とした仮設資材全般を取り扱います。同種の品目を取り扱う既存拠点「杉戸機材センター（埼玉県北葛飾郡杉戸町）」と連携し、関東広域の多くのお客様に対して利便性を高め、一層のサービス向上に努めてまいります。



# 株主還元の実

## 株主優待制度について

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を一層高めることで中長期的に当社株式を保有いただける株主様の増加を目的として、株主優待制度を実施しております。

### 株主優待制度「信和プレミアム優待倶楽部」の特長

- 毎年9月末現在の株主名簿に記載された、当社株主10単位(1,000株)以上保有の株主を対象に株主優待ポイントを進呈いたします。
- ポイント数に応じて、特設ウェブサイトに掲載されている5,000種類以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。
- 長期保有特典として、2年目\*以降は初年度のポイントを1.1倍したポイント数を進呈いたします。

\*9月末日の株主名簿に同一株主番号で連続2回以上記載されること。

### (例)優待商品



### 優待ポイント表(1ポイント≒1円)

保有株式数	初年度の優待ポイント	長期保有特典
1,000株～1,499株	5,000ポイント	5,500ポイント
1,500株～1,999株	20,000ポイント	22,000ポイント
2,000株以上	25,000ポイント	27,500ポイント

優待ポイントの繰越はできませんので、ご注意ください。

詳細につきましては、株主優待サイト(<https://shinwa-jp.premium-yutaiclub.jp>)をご参照ください。



## 配当金・配当方針について

株主の皆様への利益還元は、経営上重要な課題の一つとして位置付けております。

第11期においては、中間および期末配当としてそれぞれ1株あたり16円とし、当期の年間配当金は1株当たり32円となりました。

なお、2025年5月14日開示の通り、第12期からは配当方針を変更し、1株当たり年間配当金下限を32円とする累進配当を実施してまいります。

## 連結財務諸表(国際会計基準)

### 連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>7,291</b>	<b>9,876</b>
現金及び現金同等物	1,843	2,908
営業債権及びその他の債権	2,225	4,410
棚卸資産	3,182	2,439
その他の金融資産	-	21
その他の流動資産	39	97
<b>非流動資産</b>	<b>13,384</b>	<b>20,090</b>
有形固定資産	2,488	5,163
使用権資産	204	993
のれん	9,221	12,264
無形資産	1,352	1,438
その他の金融資産	105	199
繰延税金資産	-	12
その他の非流動資産	12	18
<b>資産合計</b>	<b>20,675</b>	<b>29,967</b>

### 連結損益計算書

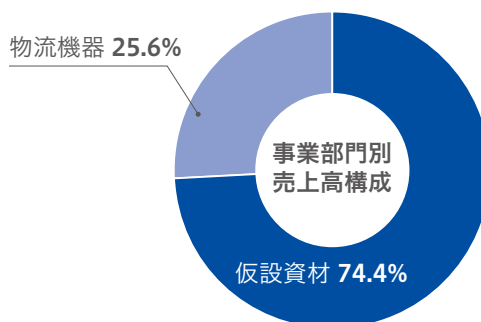
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)	当連結会計年度 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)
売上収益	12,678	17,503
売上原価	△9,880	△13,084
<b>売上総利益</b>	<b>2,797</b>	<b>4,418</b>
販売費及び一般管理費	△2,078	△2,763
その他の収益	25	21
その他の費用	△44	△54
<b>営業利益</b>	<b>700</b>	<b>1,622</b>
金融収益	1	10
金融費用	△48	△134
<b>税引前利益</b>	<b>652</b>	<b>1,498</b>
法人所得税費用	△241	△525
<b>当期利益</b>	<b>411</b>	<b>972</b>
<b>当期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	409	975
非支配持分	1	△2
<b>当期利益</b>	<b>411</b>	<b>972</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>(負債及び資本の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,943</b>	<b>6,693</b>
営業債務及びその他の債務	1,045	1,603
借入金	1,490	4,589
未払法人所得税	59	127
その他の金融負債	69	123
その他の流動負債	278	248
<b>非流動負債</b>	<b>2,413</b>	<b>7,427</b>
借入金	1,963	5,897
引当金	44	101
その他の金融負債	143	882
繰延税金負債	258	484
その他の非流動負債	3	61
<b>負債合計</b>	<b>5,357</b>	<b>14,121</b>
<b>(資本の部)</b>		
<b>親会社の所有者に帰属する持分</b>	<b>15,310</b>	<b>15,841</b>
資本金	153	153
資本剰余金	6,918	6,930
利益剰余金	8,363	8,885
自己株式	△147	△137
その他の資本の構成要素	22	10
非支配持分	8	5
<b>資本合計</b>	<b>15,318</b>	<b>15,846</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>20,675</b>	<b>29,967</b>

### 事業部門別売上高構成 (2025年3月期)



## 第11期のIR活動について

当社では、株主・投資家の皆様に事業内容や経営方針を深くご理解いただくため、積極的なIR活動に取り組んでおります。第11期は、その一環として決算説明会動画の書き起こし掲載や、名古屋証券取引所主催のIRフェアへの出展を実施いたしました。続く第12期におきましても、東京・名古屋で開催されるIRフェアへ出展するなど、情報発信と対話の機会をさらに増やしてまいります。

今後も株主の皆様からいただく貴重なご意見を真摯に受け止め、IR活動のさらなる充実に努める所存です。



### YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCIPSIHU5CW8i8-YGg4dRIQjg/featured>



### X

<https://x.com/shinwajp/>



## 会社概要 (2025年3月31日現在)

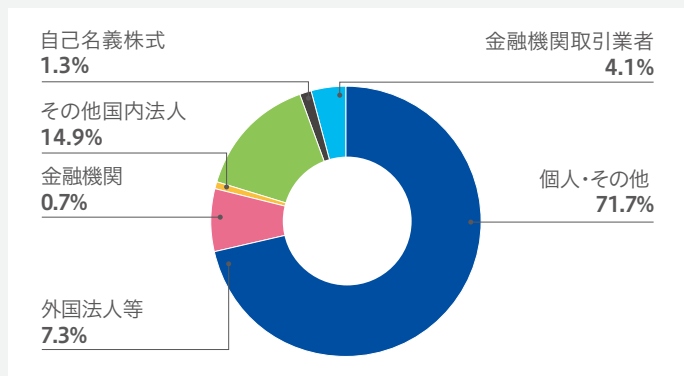
社名	信和株式会社 Shinwa Co.,Ltd.
設立	2014年8月11日(実質的な設立:1979年8月)
資本金	153百万円
主な事業内容	仮設資材、物流機器の製造・販売
従業員数	259名
本社所在地	岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7
営業拠点及び工場等	東京支店/大阪支店/名古屋オフィス/幸手事務所/福岡支店/長崎支店/土倉工場/土倉機材センター/杉戸機材センター/相模原機材センター/関西機材センター/広東日信創富建築新材料有限公司(中国・広東省佛山市)

## 株式情報 (2025年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	55,153,600株
発行済株式の総数	14,103,000株
株主数	15,106名

### 所有者別分布状況 (2025年3月31日現在)



## 役員 (2025年6月25日予定)

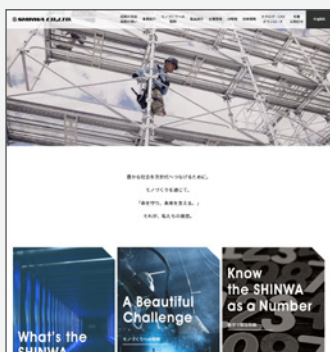
代表取締役	則武 栗夫
取締役副社長	鬼頭 和也
専務取締役	平野 真一
常務取締役	平澤 光良
社外取締役(監査等委員)	谷口 哲一
社外取締役(監査等委員)	芹澤 浩
社外取締役(監査等委員)	阿知波 知子

### 大株主 (上位11名・2025年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アルインコ株式会社	689,400	4.95
阪和興業株式会社	689,400	4.95
鬼頭 和也	237,900	1.70
MSIP CLIENT SECURITIES	177,400	1.27
BNYM SA/NV FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	161,689	1.16
BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	144,700	1.03
中山通商株式会社	137,900	0.99
野村証券株式会社	133,726	0.96
新海 秀治	125,200	0.89
東京短資株式会社	121,300	0.87
J P モルガン証券株式会社	116,273	0.83

※当社は、自己株式180,434株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 当社ホームページのご案内



様々な情報をホームページでご覧になれます。

<https://www.shinwa-jp.com>

物流の困りごとをワンストップで解決。汎用物流機器のスペシャルサイト。

<https://www.s-logi.biz>



## 株主メモ

証券コード	3447
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
基準日	9月30日、3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	当社の公告は、電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 <a href="https://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html">https://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html</a>